

SmileCamera仕様書

作成者：iウェア株式会社

2021年10月6日

呼びだし方法

URLスキーム：

SmileCamera を起動するURL

smilecamera-x-callback-url://x-callback-url/open

コールバック：

コールバックするURL

x-success

例) x-success=fmp://\$/SmileCamera.fmp12

コールバックスクリプト：

コールバックで使用するスクリプト名

script

例) script=ReceivePicture

識別子：

呼び出し時の識別子

id

例) id=12345678

撮影データ保存：

撮影データをSmileCameraに保存するかどうか

saveimage

0:保存しない

1:保存する

例) saveimage=1

撮影データの形式：

撮影したデータをパラメータ内で渡すか、クリップボードで渡すかの指定

clipboard

0:戻り値のパラメータ内で返す (base64encoe形式)

1:クリップボードに保存して返す

例) clipboard=1

カメラの向き：

前面カメラか背面カメラを指定

position

0:全面カメラ

1:背面カメラ

例) position=0

セルフタイマー：

セルフタイマーの時間を指定。笑顔になっていなくても指定時間で撮影。

selftimer

秒数

例) selftimer=10

URLスキームの例：

```
smilecamera-x-callback-url://x-callback-url/open?  
x-success=fmp://$/SmileCamera.fmp12&  
script=ReceivePicture&  
id=12345678&  
saveimage=0&  
clipboard=0&  
position=0&  
selftimer=0&
```

受け取り方法

x-successで指定したURLスキームを呼び出す。戻り値はJSON形式をbase64エンコードしたもの。

スクリプト：

コールバックの際に実行するスクリプト

script
例) script=ReceivePicture

戻り値：

撮影情報の入ったJSONのエンコードデータ

param
例) param="eyJ0ZWlnaHQiOjM4....."

JSON仕様：

識別子：

URLスキームで呼び出された識別子

id
例) "id": "12345678"

幅：

撮影イメージの幅

width
例) "width": 2160

高さ：

撮影イメージの高さ

height
例) "height": 2160

撮影日：

撮影した日

date
例) "date": "2021/10/1"

撮影時間：

撮影した時間

time

例) "time": "10:10:00"

データの返し方：

データがJSON内かクリップボードか

clipboard

0:json内

1:clipboard

例) "clipboard": "1"

撮影データ：

撮影データ (clipboardが0の時のみ)

image

base64 encode data

例) "image": "yokjJoZWIn....."

JSONの例：

```
{  
  "id": "12345678",  
  "width": 2160,  
  "height": 3840,  
  "date": "2021/10/06",  
  "time": "14:50:52",  
  "clipboard": "0",  
  "image": "xxxx.....",  
}
```